

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 年 月 日作成

事務事業名	巨摩保育所保育活動費			所属部局	保健福祉部	単位番号	5144					
	□ 実施計画事業			所属課室	巨摩保育所	課長名	芦沢 順子					
				所属担当	巨摩保育所	担当者名	芦沢 順子					
基本政策	IV	快適で心のかよいあう都市づくり			予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
						01	一般	03	02	04	040	06
政策	17	社会福祉の充実			事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
施策	28	児童福祉の充実				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			法令根拠	児童福祉法・末見指針・南アルプス市立保育所条例 南アルプス市立保育の実施に関する条例・南アルプス市立保育の実施に関する条例施行規則							
業務事業の概要	保育所嘱託医報償、講師謝礼、教材等消耗品、祖父母との交流事業食料費、保育証書等印刷代、教材・器具等修理代、給食賄い費、児童ぎょう虫等検査料、職員検便検査料、バス借上料、職員研修負担金等、児童保育に関わる運営費。児童数の増減が影響する。 【平成27年度】継続:7,619千円 新規:2,131千円(未満児保育の拡充)			事業費の主な内訳	(26年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
				報償金	345	修繕費	60					
				普通旅費	103	賄材料費	4,500					
				消耗品費	1,700	手数料	304					
				食糧費	303	負担金補助交付金	10					
				印刷製本費	120	計	7,079					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	
26年度活動内容	・保育活動事業にかかる予算の執行 ・児童に関わる各種事業の執行(リトミック教室・絵本読み聞かせ等)
27年度活動予定	・保育活動事業にかかる予算の執行 ・児童に関わる各種事業の執行(リトミック教室・絵本読み聞かせ等)
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
①入所児童 ②保育所保護者	
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
児童が健やかに育つ	
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
児童福祉の充実	

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 各種事業にかかる経費	円
イ	
ウ	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 児童数	人
イ 保護者数	人
ウ	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 幼園児童数	人
イ	
ウ	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 保育所に満足している保護者数	人
イ	

		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	7,151	9,190	7,079	9,945		
		事業費計 (A)	千円	7,151	9,190	7,079	9,945	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8		
		延べ業務時間	時間	14,700	14,700	14,700	14,700		
		人件費計 (B)	千円	66,900	66,900	66,900	66,900	0	0
		(A)+(B)	千円	74,051	76,090	73,979	76,845	0	0
活動指標		ア	円	7,084,000.0	7,084,000.0	7,942,000.0	7,619,000.0		
対象指標		イ							
成果指標		ウ							
上位成果指標		ア	人	151.0	150.0	145.0	165.0		
		イ	人	130.0	130.0	117.0	130.0		
		ウ							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	巨摩保育所は、昭和27年4月に周辺の児童保育の場所として開所され、保育活動を現在に至るまで行ってい
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	現在、巨摩保育所の定員は220名であるが、在籍児童数は145名で減少傾向にある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	具体的な意見はないが、子どもの安全面を考えた保育をお願いしたいとの保護者からの意見はある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 「」 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	保育活動に対する意見要望・苦情があれば、職員会議で協議し、対応策を講じている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	保育士の保育活動に対する苦情はないが、保護者の声に対応できるようにコミュニケーションをとり信頼関係づくりに努めた。

事務事業名	巨摩保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	巨摩保育所
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業は、市の政策体系の中でも重要施策である児童福祉の充実に位置づけられている。生計を維持するために働いている労働者世帯に対し、子どもの保育場所の確保が重要であり、その児童が健全に成長できるよう保育活動事業を行って
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 昨今の少子化問題のひとつである保育所場所の確保は、国を挙げて対策を講じており、最優先課題として挙げられている。市の施策についても同様であるため、公共関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 事業の必要性は高く、今後多くのニーズの中から保育目標に合った事業を行っていく。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 保育活動については、様々な活動方法があり、手法次第で、必要最小限の経費で大きな成果につながることもある。巨摩保育所では、子どもたちの情操教育を重視し、出来る限り読みきかせを行ったり、食育に対しても積極的に保育事業を取り入れ
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 子どもも子育て新システムにより「総合施設」として位置づけられていく中で検討される。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保育活動事業を休止した場合は、児童保育に対する安全管理の確保が出来なくなるとともに、廃止した場合は、保護者の勤労が困難になり生活維持が出来なくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 児童保育ができなくなる。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 これ以上の削減はできない状況である。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童福祉法に基づいた職員で保育し、年々臨時職員の比率が上がっている。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 入所児童には公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童福祉をより充実して行うために、巨摩保育所は、子どもたちの情操教育に力を入れて事業を行ってきた。今後も、リトミック教室や、絵本の読み聞かせを積極的に取り入れ、子どもたちが元気に保育所生活をおくれるような事業を行っていく。今年度は遊びの実践学習会を開催し、プレイヤーとして保育の質の向上に努めた。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	巨摩中学校が近いので、学校の家庭科の授業の中で行き来し、子供達と交流ができた。今後
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了																
(2) 改革改善案について	コスト水準																
①保育士が子どもとかわる時間がとれるように保育所内の事務事業の見直し。 ②地域(小学校・中学校)・保護者との連携の中で特色ある保育を行う。	<table border="1"> <tr> <td></td><td colspan="3">コスト水準</td></tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>成 果 維 持</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr> <td>水 準 低 下</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td></td></tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準				削減	維持	増加	成 果 維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水 準 低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	コスト水準																
	削減	維持	増加														
成 果 維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>														
水 準 低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																
①事務事業を効率的に行うことに対して保護者の理解を得ること。園だよりや、クラスだより等でお知らせする。 ②地域(小学校・中学校)・保護者に積極的に声をかけ、地域の資源や人材を有効活用する。	成果優先度評価結果 (11) コスト削減優先度評価結果 (6)																